

第1回 地域連携推進会議 記録

令和7年11月11日 11:00～12:00
社会福祉法人いたるセンター バンブル

1. 施設長より挨拶

2. 自己紹介

参加者

安倍:施設長

三股:サービス管理責任者

中里裕司:ご利用者

岩田幸男:ご利用者ご家族

大作恵:障害者地域生活担当係係長

岩波桂三:成城自治会会長

佐伯京子:民生委員

3. 地域連携推進会議について ※資料あり

- ・以前から行っていたが、(義務化に伴い)今年度から急増して驚いている。(岩波様)
- ・経緯としてグループホームでの不適切行為、虐待が顕著だったこと。プライバシーなどの観点から今まではオープンにしていなかったが、地域住民と顔を合わせる必要性が出てきた(大作様)

4. グループホームバンブルについて

- ・イベント写真のスライドショー実施
- ・イタル成城は以前から知っていたが「バンブル」は知らなかった。(佐伯様・岩波様)

質問①防災についてはどうか(岩波様)

回答①イタル成城は福祉避難所に指定されており非常食7日分の備蓄している。(安倍)

・自治会では非常食10日分を目指している。要介護名簿を作成しその方たちを地域で守っていきたい。その為には日頃から顔を合わせる機会が大事。顔を覚えてもらう。バンブルも有事の際は地域の方の力が必要。顔を憶えてもらえる関係づくり、困った時の助け合いが出来るようにしていってほしいと思う。広報「砦」に行事が載っているので見てもらい参加をしてほしい。

成城地区の一次避難所は①千歳小学校②砦中学校③明正小学校、総合工科高校や成城学園は二次避難所となる。(岩波様)

・バンブルでも7月より休日の散歩と買い物を始め、地域と交流する機会になっている。(安倍)

5. 施設見学

・綺麗にされている。落ち着いた雰囲気。(佐伯様)

6. 地域行事等について

・広報誌「砦」に行事等を載せている為見ていただきたい(岩波様)

7. ご利用者・ご家族の声

質問①バンブルがこうなったらいいなという意見はありますか(大作様)

回答①(中里様:しばらく悩まれる)

・バンブルではPCで絵を描いたりしている。今度車椅子を新しくする。2018年以來。(中里様)

・地域連携推進会議では他職員の意見も集めた方が良かった。(岩田様)

・散歩は感謝している。危ないからやめようより、子供のやったら楽しいを探してほしい(岩田様)

以上